



プレイヤーズ・ファースト [選手尊重]



スポーツを行う目的とは、一体何でしょうか。運動能力が向上することは間違いありません。しかし、それ以上に重要視すべきは、スポーツを行う人の心が磨かれていく点です。例えば、困難に直面したときにあきらめずにやり抜こうとする意志、苦しい時に自分を信

じる力などです。このような、人としてとても大切な心を“楽しみながら自然に養う”ことができるのが、スポーツの醍醐味ではないでしょうか。

子供たちの心を育むために、私たちは子供たちの考えや思いを尊重します。また、子供たちのチャレンジ&エラーを推進しています。大人の命令で動くのではなく、子供たちの意思によって行動し、その結果に責任を持たせる。これが私たちの薦める「プレイヤーズ・ファースト」の根本的な理念です。

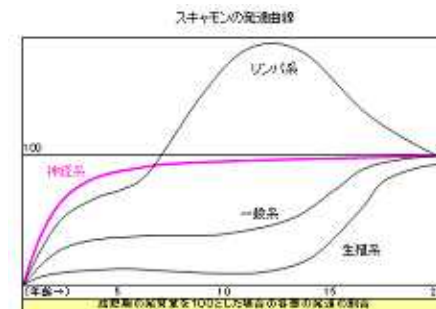
子供は“小さな大人”ではありません
子供は小さな大人ではありません。できないところからスタートしています。しかし、興味を示すものには高い集中力を発揮します。遊び感覚の中から自然に運動能力・テニス競技力・スポーツマンシップ等を身につけられるようにサポートします。



ゴールデンエイジ と プレゴールデンエイジ

技術を習得するという意味は、体中の神経に刺激を与えるという意味です。この刺激に対する反応が一番良い時期が 9～12 才頃（ゴールデンエイジ）です。もちろん個人差がありますが、あらゆることを瞬時に覚えられるため伸びるには最高の時期です。

最高のゴールデンエイジを迎えるためには、その前の 4～8 才頃のプレゴールデンエイジをどのように過ごしたかがカギとなります。この時期に、様々な遊び（おにごっこ、ボール投げ、ジャンプなど）を通して体中の神経回路を太くしておくことが必要となります。



NEW WIMBLEDON TENNIS CLUB
ニューウィンブルドンテニスクラブ